

碧南市教育委員会 4月定例会議事日程表

令和4年4月28日(木)

午後2時～

市役所 7階 議員大会議室

1 開会の辞

2 教育長報告

3 前回会議録の承認について

4 議 案

(1) 報告事項

ア 3月議会総括質疑内容及び回答について (資料1)
(関係各課)

イ 小中学校みどりの学校の実施について (資料2)
(学校教育課)

ウ 碧南市文化財指定申請書取下届の受理について (資料3)
(文化財課)

エ 碧南市文化財指定にかかる諮問について (資料4)
(文化財課)

オ 教育相談事業報告について (当日資料)
(学校教育課)

(2) その他

ア 各課報告

イ 5月定例会 5月26日(木) 午後2時から 碧南市役所4階 庁議室

5 閉会の辞

報告事項ア 3月議会総括質疑内容及び回答について（関係各課）

3月議会 質問内容及び回答

課名 学校教育課

議員名	質問内容	回答
山中謙治議員	<p>2 教育行政方針 について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染拡大における教育方針について</p> <p>(2) コロナ禍による不登校や引きこもり児童のケア対策について</p>	<p>碧南市では新型コロナウイルス感染症の第6派により今年の1月下旬から多数の児童生徒に感染者が出た。そのため、必要に応じて学級閉鎖の措置をとった。</p> <p>学級閉鎖をした場合には、児童生徒の学年を考慮し、学習プリントを各家庭に配付したり、タブレット端末を持ち帰ったりして、学習を進めた。登校後は、児童生徒それぞれの学習状況を把握し、個に応じた支援体制を整え対応している。</p> <p>社会の状況が大きく変化する中、変化を前向きに受け止め、未来を切り開くための資質や能力を培うことができるよう、今後も感染対策を講じて教育活動を進めていく。</p> <p>不登校や引きこもりの児童生徒への支援については、担任をはじめとする教員はもちろん、スクールカウンセラー、心の教室相談員、ハートフレンド、市の教育相談室や適応指導教室などの相談機関と保護者、学校が連携し、ケアを行っている。コロナ禍でも児童生徒とのつながりを大切にした支援を進めている。</p>

	<p>(3) ESD (持続可能な社会の作り手を育てるための教育) 推進について</p>	<p>各学校では、新学習指導要領における資質・能力の三つの柱、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指していくことが、ESD の推進につながると考え、実践に取り組んでいる。</p> <p>例えば、小学校の社会科で、生産者、販売者、管理者等が連携し合っていることを学び、地域との連携性に目を向けた学習を行っている。これは地域の協力がなければならない。</p> <p>これからも、地域社会と連携を図りながら、持続可能な社会の創り手の育成を目指していく。</p>
加藤厚雄議員	<p>2. 令和4年度教育行政方針について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大またGIGAスクール構想への対応の環境下で、子供たちの資質・能力を培うことができたか。教職員の負担の増減は。</p>	<p>GIGAスクール構想によって導入されたタブレット端末は、児童生徒それぞれの考え方を収集し、それを学級全体で共有するという面で優れており、児童生徒は、自分にはなかった考え方にふれることで、自分の考えを広げ、深める機会が増えている。また、個別に学習に取り組むこともでき、一人一人の教育的なニーズや理解度に応じた学習に取り組むことができるようになってきた。</p> <p>教職員の負担については、活用研修や授業準備、機器の不具合や情報モラルにかかわる生</p>

	<p>(2) ウイズコロナの下で、今後の学校教育の充実について</p>	<p>徒指導の対応等で増えている。また、新型コロナウイルス感染症予防や対策に関する業務、そのほか出席停止や早退の報告や家庭、児童生徒への連絡などの業務も増えている。</p> <p>感染症対策を十分に講じながら、学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びを進めている。タブレット端末の特徴を生かし、児童生徒の学びを止めずに進めていく工夫を行っていきたい。家庭でもWeb会議システムを用いて児童と先生がやり取りをしたり、ドリル学習をしたりしている。これらの実績を積み重ね、市内の小中学校で共有し、児童生徒の学びを進めていくことが、今後の学校教育に求められている大切な点であると考えている。</p>
<p>祢宜田拓治 議員</p>	<p>1 ふるさと教育について (1) 小中での推進状況について ア 本市の歴史、成り立ちについて</p>	<p>碧南市の小学校3・4年生では、「わたしたちのへきなん」を活用して碧南市の歴史、成り立ちについて学習している。例えば、400年前の地図と現在の地図を比べながら、海が埋め立てられて新田が広がっていく様子を学ぶ。当時の人の苦労や新田開発に貢献した稲生平七郎や三宅又兵衛について調</p>

	<p>イ 文化財、祭りについて</p> <p>ウ 本市出身の偉人教育について</p> <p>【2回目質問】 できれば、碧南の偉人だけを、功績や関係や出来事が分かりやすく年表的に整理した冊子を作って副教材にしてはどうでしょうか。私、個人的</p>	<p>べ、年表や地図、新聞などにまとめる活動を通して学習している。</p> <p>例えば、大浜の乱杭渡り人形や神社で行われるお祭りでの餅投げなどを取り上げ、身近な地域の伝統行事について学びを深めていく。また、毘沙門さんや称名寺、応仁寺など、地域のお寺に出かけ、自ら課題を見つけ、それを解決していく活動などを行うこともある。</p> <p>社会科副読本「わたしたちのへきなん」では、新田開発に尽力された齋藤倭助さん等について学ぶようになっている。そのほかの偉人については、碧南市史料「藤井達吉物語」や「山中信天翁物語」等が、各校の図書室にある。また、文化財課の出前授業を活用して学習することもできる。特に4年生では、「碧南の土地の広がり」の学習で市内をめぐる見学の際に、「長七たたき」を見学し、直接、偉人の功績に触れる機会を設けている。</p> <p>学習指導要領では、地理的環境、地域の安全を守る諸活動や地域産業と消費生活、地域の移り変わりについて、人々の生活と関連をふまえて理解すると</p>
--	---	---

	<p>にも欲しいですが、是非作って頂けないでしょうか。</p> <p>エ 本市の地場産業について</p> <p>オ 本市の発展、展望について</p>	<p>ともに、必要な情報を調べてまとめることができることを目指している。それらの力を身につけるための副教材として「わたしたちのへきなん」は編集をされており、十分役割を果たしていると考え。</p> <p>碧南の偉人に興味をもった児童生徒は、各校の図書室にある碧南市史料を使って、自分で調べていくことができるようになっており、授業で活用するために作成する副教材として、新たなものを作成する予定はない。</p> <p>社会科副読本「わたしたちのへきなん」では、「みりん」や「白醤油」を取り上げている。総合的な学習の時間において、「へきなん美人」や「シラス」などについて体験学習や調べ学習に取り組み、地場産業について考える機会としている。地元工場見学も行っている。</p> <p>中学校2年生で実施している職場体験学習では、地元事業所の協力を得て、実際の作業を体験しながら地場産業に直接ふれる機会になっている。</p> <p>小学校3、4年生の地域社会の学習だけでなく、児童生徒が地域行事に積極的に参加し、地域の方々とふれ合うことで地域の一員であるという意識を</p>
--	--	--

		<p>育むことができると思う。</p> <p>将来ふるさと碧南を支える世代の育成につながるような教育を進めていきたいと考えている。</p>
杉浦文俊議員	<p>2 令和4年度教育行政方針について</p> <p>(1) 新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング) への取り組みについて</p> <p>(2) G I G Aスクール構想への取り組みについて</p>	<p>小学校5年生社会科「水産業」の単元で、地元漁港で水揚げされるシラスを取り上げ、漁港や競りの見学をしたり、話を聞いたりする学習を通して、地元のシラスをもっと広めたい思いをもち、「シラス紹介のリーフレット」を作成した。それを加工会社の協力を得て、全国の消費者へ届けるという活動まで行った。</p> <p>また、中学校数学科の授業では、「どの車を買うとお得か」をテーマに、ガソリン車、ハイブリッド車、電気自動車の燃費や車体価格を比較することで、「一次関数」を活用するなど、学んだことを活かした取り組みを行っている。</p> <p>体験的学習、地域教材や生活と関連させた教材を学習に取り入れることで、対話による問題解決を目指した授業づくりで、主体的・対話的で深い学びを促している。</p> <p>学級閉鎖となった児童生徒へは、多くの学級でプリントを</p>

	<p>ア 学級閉鎖や自宅待機となった児童生徒への対応について</p> <p>イ 臨時休業等の非常時における端末持ち帰り学習に関する準備状況調査について</p>	<p>配付したり、補助教材を用いたりした家庭学習を行った。加えて、タブレット端末を利用し、Web会議システムを用いて学習指導を行った学級があった。また、ドリル学習や学習内容の解説を行った動画を配信する取り組みを行った学級もある。</p> <p>児童生徒への対応は、心のケアも必要であり、電話で健康状態を確認した。また、学校に置いてある教科書を家庭に届けるなど状況に合わせた取り組みも行った。</p> <p>文部科学省が令和4年1月末時点で、臨時休業等の非常時における端末の持ち帰り学習に関する準備状況の調査があり、全国の95.2%の学校が準備済みであると報告された。碧南市でもすでに準備済みであると回答している。</p> <p>その経緯は、昨年5月下旬、各小中学校において家庭のWi-Fi環境を調査し、整っていない家庭に、9月中旬、モバイルルーター貸与案内を配付した。そして、9月下旬より、各小中学校で協力いただける家庭を対象に端末を持ち帰り、インターネット接続テストを行った。</p>
--	---	---

	<p>ウ 現状の課題と対応について</p>	<p>タブレット端末を家庭で活用した学習については、準備段階であり、各学校での様々な取り組みを共有し、課題を解決しながら、どの学校でも対応可能な運用方法を検討していきたいと考えている。</p> <p>また、ICT支援員の継続的な支援が必要である。ICT機器の技術は常に進歩しており、授業配信をはじめ授業を行っている教員のみだけで十分に対応できないことが数多くある。そのため、授業補助、使い方研修、故障など、ICT支援員の対応が必要であるとの意見が学校現場からある。</p>
<p>小池友紀子 議員</p>	<p>2 令和4年度教育行政方針について</p> <p>(1) 養護教諭非常勤講師配置事業について</p> <p>ア 事業化に踏み切るまでの背景について</p>	<p>小中学校においては、養護教諭の果たす役割が大きく、業務が増大してきている。児童生徒の疾病や情緒障害、体力、栄養状態等の把握。児童生徒の健康増進に関する指導や心身の健康に問題をもつ児童生徒への個別指導。学校環境衛生に関する業務や、一般教員の行う日々の教育活動にも積極的に協力している。</p> <p>中でも、アレルギー対応や新型コロナウイルス感染症対策の業務も増大してきている。</p>

資料 1

		<p>る時間の確保ができる。</p> <p>これまでは、一人職であったが、兼務者がいることで、他校との情報の共有化が進み、業務の効率化につながると考える。そして、どの学校においても、児童生徒の健康管理や心身のケア等ができる体制が進むと考える。</p> <p>また、研修や休暇等で、養護教諭が不在となる学校に対しても対応することができ、保健室を閉めることなく、児童生徒の健康や安全への対応ができるといった効果が期待できる。</p>
--	--	--

課名 スポーツ課

議員名	質問内容	回答
山中謙治議員	<p>1. 施政方針及びマニフェストについて</p> <p>(2) 主要施策について</p> <p>ウ 公共施設の利活用について</p>	<p>碧南緑地ビーチコートでは全国規模の大会を開催したり、トヨタ自動車の協力を得て小中学生を対象にビーチバレーボール教室を開催している。</p>
加藤厚雄議員	<p>1. 令和4年度施政方針について</p> <p>(2) 新たなまりづくり戦略について</p> <p>イ 臨海部におけるスポーツ活動等の推進について</p>	<p>宿泊設備は行政が整備することはないが、港湾会館、勤労</p>

		<p>青少年水上スポーツセンター、半田市のホテルを利用している。</p> <p>食事については、港湾会館やキッチンカーを呼んで対応している。</p> <p>休憩施設については、コート前にワンタッチテントを設営して対応している。</p>
--	--	---

課名 海浜水族館

議員名	質問内容	回答
小池友妃子議員	<p>2. 教育行政方針について</p> <p>(2) 碧南海浜水族館について</p> <p>ア 40年間にわたる水族館の歩みについて主なトピックスを問う。</p> <p>イ 来場数の推移について問う。</p>	<p>平成元年度来館者100万人達成、平成12年秋篠宮皇嗣殿下・妃殿下をお招きし、日本動物園水族館協会技術者研究会を開催、平成14年開館20周年記念にエドモンズ市の生きもの特別展開催、平成17年愛知万博開催に伴いクロアチア共和国のドラゴンズベビーを展示、令和元年リニューアルオープンなどを説明。</p> <p>開館以来、令和4年2月末までに合計564万人余が来館。最高は、開館年度の236,674人、2位はリニューアルオープンした令和元年度の22</p>

	<p>ウ 水槽等の改修について内容を問う。</p> <p>エ 40周年記念事業について内容を問う。</p> <p>オ 今後の展望について問う。</p>	<p>3,662人、3位は全国的な水族館ブームの平成3年度の207,091人、平成4年度の204,544人、平成2年度の182,931人と続き、今年度は5位に迫る状況。</p> <p>老朽化した水槽6基を撤去し、キューブ型的水槽3基に加え、直径150cmと直径70cmのクラゲ水槽それぞれ1基ずつを製作し設置する予定。</p> <p>生物収集に関する苦労話や調査活動、教育普及活動など、職員が特に印象深い出来事40項目をリストアップし、年代別にパネルで紹介する。</p> <p>全国でも数少ない教育委員会所属の水族館であることから、生きた教材から楽しく学べる教育施設として、子供たちをはじめすべての皆さまの生きる力に通ずる情報発信を持続できるよう努める。</p>
--	---	---

報告イ 小中学校みどりの学校実施について（学校教育課）

令和 4 年度小学校みどりの学校の実施について

- 1 日 時 令和 4 年 6 月 1 2 日（日）～令和 4 年 6 月 2 0 日（月）
- 2 場 所 岡崎市千万町町字大平田 1 7 - 5
愛知県野外教育センター
- 3 参 加 者 市内小学校 7 校の 5 年生全員 6 8 2 名
（別添の令和 4 年度みどりの学校日程のとおり）
- 4 経 費 宿泊料等 5, 8 5 7, 6 6 0 円
内 訳
宿泊代 児童 6, 7 3 0 円
引率者 7, 6 5 0 円
その他
キャンプカウンセラー代 3 0, 4 7 0 円（1 人当り）
キャンプファイヤー代 1 2, 7 0 0 円（1 校当り）
活動用消耗品 8, 0 0 0 円（1 校当り）
バス借上料 2, 3 5 9, 5 0 0 円
（1 クラスにつき 1 台配車）
- ※児童については全額を市が負担、引率者は県旅費支給分を徴収する
5. そ の 他 開校式出席者（6 月 1 2 日） ……（ 教育委員 ）
（ 学校教育課長 ）

※ 2 4 年度から開校式のみ出席

令和 4 年度中学校みどりの学校の実施について

1. 日 時 令和 4 年 5 月 3 0 日 (月) ～ 令和 4 年 6 月 1 1 日 (土)
2. 場 所 豊田市小滝野町坂 3 8 番地 2 5
愛知県旭高原自然の家
3. 参 加 者 市内中学校 5 校の 2 年生全員 6 9 4 名
(別添の令和 4 年度みどりの学校日程のとおり)
4. 経 費 宿泊料等 6, 3 5 5, 7 0 2 円
内 訳
宿泊代 生徒 7, 6 9 2 円
引率者 8, 8 6 7 円
その他
キャンプカウンセラー代 1 0, 1 4 2 円 (1 人 当 り)
キャンプファイヤー代 2 3, 3 0 2 円 (1 校 当 り)
施設利用料 2, 7 0 0 円 (クラス数で積算)
活動用消耗品 1 1, 0 0 0 円 (1 校 当 り)
バス借上料 3, 2 0 1, 0 4 0 円
(1 クラスにつき 1 台配車、有料道路料含む)
※生徒については全額を市が負担、引率者は県旅費支給分を徴収する
5. そ の 他 開校式出席者 (5 月 3 0 日) …… (教 育 長)
(学 校 教 育 課 指 導 主 事)
※ 2 4 年 度 从 開 校 式 の み 出 席

令和 4 年度みどりの学校日程

小学校（令和 4 年 6 月 1 2 日～ 2 0 日）

日	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月
参加校	「中央小」 「日進小」 「鷺塚小」 「西端小」 「新川小」 「棚尾小」 「大浜小」								
学級(車両)数	新川小4	中央小3	大浜小3	棚尾小3	日進小2	鷺塚小4	西端小2	21学級	
参加人員	125	94	94	121	49	127	72	682人	

令和 4 年度みどりの学校日程

中学校（令和 4 年 5 月 3 0 日～ 6 月 1 1 日）

日	3 0	3 1	1	2	3	4	5	8	9	1 0	1 1
曜日	月	火	水	木	金	土	日	水	木	金	土
参加校	「南中」 「中央中」 「西端中」 「新川中」 「東中」										
学級(車両)数	新川中4	中央中3	南中6	東中4	西端中2	19学級					
参加人員	147	105	218	148	76	694人					

報告事項ウ 碧南市文化財指定申請書取下届の受理について（文化財課）

文化財所有者より、碧南市文化財指定申請書取下届が提出されました。

つきましては、取下届を受理し市指定有形文化財の指定申請手続きを中止いたします。

記

1 届出者・届出文化財名称

(1) 碧南市音羽町一丁目 4 8 番地 宝珠寺

有形文化財 大浜村絵図

(2) 碧南市松本町 2 8 番地 碧南市

有形文化財 西端村・高取村溜池争論裁許絵図

2 経緯

令和 3 年 1 1 月 2 2 日 碧南市文化財指定申請書の提出受理

1 2 月 1 6 日 碧南市文化財保護審議会に諮問

令和 4 年 1 月 2 5 日 碧南市文化財保護審議会開催

調査結果を碧南市教育委員会に答申

4 月 6 日 碧南市文化財指定申請書取下届の提出受理

4 月 2 8 日 碧南市教育委員会に報告

別添資料参照

報告事項エ 碧南市文化財指定に係る諮問について（文化財課）

文化財所有者より、碧南市文化財指定申請書が提出されました。

つきましては、碧南市文化財保護条例第5条の規定に基づき、市指定有形文化財の指定について、碧南市文化財保護審議会に諮問いたします。

記

1 申請者・申請文化財名称

(1) 碧南市西浜町四丁目1番地 長田英之氏

有形文化財 大浜村絵図

(2) 碧南市松本町28番地 碧南市

有形文化財 西端村・高取村溜池争論裁許絵図

別添資料参照